

生活支援コーディネーターが 地域づくりを支援します

高齢者の生活を支えるための地域づくり

介護や生活支援を必要とする高齢者や、単身生活者や高齢者のみの世帯が増える中、生活の継続に必要な買い物や掃除の支援、高齢者が生きがいを持って参加できる活動が、これまで以上に必要になると見込まれます。

このため、従来のホームヘルプやデイサービスだけではなく、住民が実施する取組も含めた、多様な担い手による高齢者の支援体制を、地域の中に作っていくことが必要になっています。

地域の人みんなで一緒に取り組む介護予防活動を応援します

自分らしく地域で暮らし続けるためには、一人ひとりができる限り介護予防に努めるとともに、地域や家庭の中で何らかの役割を担いながら生活することが大切です。また、役割を担うことは介護予防にもつながります。地域の誰もが参加できる、身近な場所での「体操教室」や「サロン」など、住民の自主的な介護予防活動の立ち上げや、運営について幅広く応援します。

高齢者のための地域活動を支援します

こうした住民の皆さんの参加による、幅広い支え合いの地域づくりを推進するため、荒尾市では、平成28年4月1日から、荒尾市社会福祉協議会内に「生活支援コーディネーター」を配置し、地域住民の皆さんによる高齢者の介護予防活動や生活支援の自主的な取組を積極的に支援します。

■ 高齢者が参加できる定期的・継続的な介護予防活動を応援します。
～取組の内容や開催場所は、住民の皆さんのアイデアで～

体操教室をやってみたいけど、どのように立ち上げれば良いかわからない。

生活支援コーディネーターが開催に向けて支援します。

サロンを開きたいけど、場所代の負担が難しい。

場所の確保費用等の一部について、助成を受けることができます。

地域で生活支援のボランティアをしたいけど、どうすれば良いかわからない。

ボランティア研修を実施します。積極的に参加してみてください。

総合事業では、どんな介護予防活動に参加できますか？

ご近所さんとお茶やお話をしたい



近所の皆さんで集まる「いきいきサロン」への参加はいかがですか？

体操で健康づくりをしたい



近所で開催されている「介護予防体操」への参加はありますか？

足腰が弱ってきて、困っています



「からだ元気教室」に参加し、機能訓練をうけてもう一度元気になりませんか？

将来の自分のためにも、介護予防を学んでみたい



ボランティア研修に参加し、地域デビューの一歩を踏み出してみませんか？

総合事業では、どんな生活支援がありますか？

体の調子が悪くてごみ出しが大変



ボランティアの方に、ごみ出しの等お手伝いをしていただくこともできます。

スーパーは遠いし、足も悪くなって買い物やご飯の支度に困っています



商店などにより、ご自宅まで食料品等の配達支援があります。

足腰が悪くなって掃除ができない



お弁当をお声掛けしながら、手渡しでお届けします。

足腰が悪くなって掃除ができない



シルバー人材センター会員などがご自宅を訪問し、支援します。

どうやって利用・参加することができますか？

生活の中の困りごとなどができたときは、下記までご相談ください。
心身や生活の状況によっては、基本チェックリスト(荒尾市ではH29.4～)と呼ばれる簡易な確認で、サービスや支援を受けたり、生活支援コーディネーターと連携し、地域の通いの場などに参加いただくことができます。
※希望等に応じて「要支援認定」を受けることもできます。

詳しくは、高齢者支援課、社会福祉協議会までご連絡ください。